



G7 広島サミット直後の5月23日、姫路城周辺で不審物騒動（爆破予告も）がありました。幸い2個のスーツケースの中は衣類等だったそうです。今回は姫路城の写真拾ってみました。姫路城は江戸時代以前建築の天守が現存する全国で12城の一つで、1927年に特別史跡、1931年に国宝に指定されていて、1993年に日本で最初の世界文化遺産に登録されました。国宝が8棟、重要文化財の建造物が74もあり、また歴代の城主や建築物の変遷等、各所にいろいろな説明が掲示されていて、それらを全て読むだけでもかなりの時間が必要です。平成の大修理（2009～2015年）で大天守の白漆喰塗り替え・瓦の葺き替え・耐震補強が終って1年の頃に訪問、白さもひとときの白鷺城（はくろじょう）でした。連立式天守の姫路城、上の写真は右から五重の大天守と西小天守、左奥が乾小天守です。裏に東小天守があります。

1346年に赤松貞範が築いた砦のようなものが姫路城の始まりとの説もあり、16世紀中頃には黒田重隆・職隆父子により大きな城になったようです。1580年に羽柴秀吉により三重天守で石垣を持つ城郭となり周辺に城下町もでき、関ヶ原の合戦の後、池田輝政が五重天守・高石垣の城に大改修したそうです。1618年に本多忠正が西の丸を増築、三の丸御殿も整備、船場川を改修して城下と飾磨津間の運河も完成したとのことです。江戸時代には西国外様大名を牽制する為に親藩や譜代の大名が城主を歴任し、廃藩置県までの270年間で池田輝政から6氏31人にもなったとのことです。この変遷を表すかのようにいろいろな紋瓦が混在していました。この門櫓には珍しい十字紋の鬼瓦が乗っています。キリシタンの名残とか魔除けといわれているようです。沢瀉（おもだか）、左三つ巴、揚羽蝶や五三の桐の紋瓦もありました。





三の丸広場より

平成の大天守保存修理

Heisei Era Restoration of the Main Keep

50年に一度の修理

The First Restoration in 50 Years

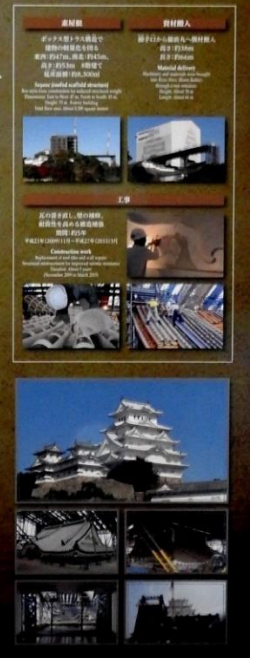
姫路城大天守は昭和39年(1964)に完了した昭和の大修理から半世紀が過ぎ、材料や職人の高齢化が進行していました。そのため、平成21年(2009)から約6年計画で大規模な保存修理工事を実施しました。修理期間中は本館前内に見学エリアを設けることで、文化財の影響への関心や理解を深めたいだくよう取り組みました。「平成の保存修理」は、大天守の瓦の葺き直しや檜の補修を中心とした木部工事で、外観や屋根目地取込などの環境の取り直しを中心とする工事は、およそ50年に一度の修理と位置づけられています。

A half century after the completion of the Heisei Era Restoration in 1964, damage and deterioration gradually began to affect the Main Keep of Himeji Castle. This situation prompted full-scale restoration that began in 2009 and lasted almost six years. During the restoration, attention was given to allow visitors to see inside the castle (mainly scaffolded structures). This deepened their interest and understanding of the significance of the maintenance of architectural structures. The Heisei Era Restoration was a half-decade project focused mainly on replacement of roof tiles and repair of the walls of the Main Keep. Finishing of the exterior walls and roof joints is a task that must be undertaken every 50 years.

姫路城大天守保存修理工事の概要

Outline of the Restoration of the Main Keep of Himeji Castle

- 平成21年(2009)10月 本館瓦葺き修理完了
October 2009: Main keep roof tiles replaced to begin.
- 平成21年(2009)12月 西門扉換装完了
December 2009: Appearance of West Gate renewed to complete.
- 平成22年(2010)3月 西門扉換装完了
March 2010: A gateway for delivery of materials is completed.
- 平成23年(2011)3月 本館瓦葺き、西門扉換装工事の準備
March 2011: A system installed (scaffold structure) to complete. "Eagle's Eye View" facility for viewing the restoration is opened to the public.
A survey is started to obtain actual measurements of the Main Keep roof, exterior walls, and other components.
- 平成24年(2012)11月 本館瓦葺き完了
November 2012: Replacement of roof tiles is completed.
- 平成25年(2013)11月 西門扉換装工事完了
November 2013: Restoration of West Gate is completed.
- 平成26年(2014)1月 西門扉換装完了
January 2014: Historical substantiation work is completed. The "Eagle's Eye View" facility is closed.
- 平成26年(2014)10月 本館瓦葺き完了
October 2014: The gateway of scaffold is removed.
- 平成27年(2015)3月 西門扉換装完了
March 2015: The gateway of scaffold is removed.
- 平成27年(2015)3月 西門扉換装完了
March 2015: The gateway of scaffold is removed.



特別史跡 姫路城跡

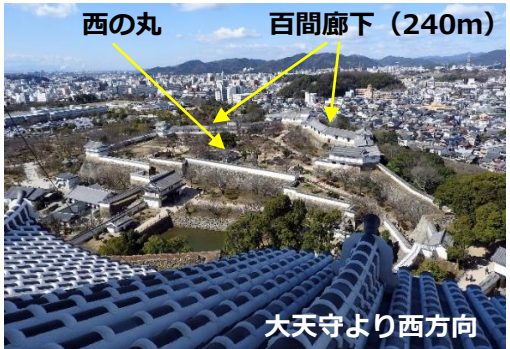
左図は酒井家時代(1749~1868)初期の姫路城下の中濠以内を描いた絵図である。南部中濠は埋められ国道となっている。内濠以内には、天守や櫓・御殿などがあり、内濠と中濠の間は南部に家老などの屋敷地、東部から北部にかけては一般の武家屋敷地となっていた。中濠の外には町人町や寺町、足軽などの屋敷などがあり、外側に土塁と外濠を設けていた。

明治時代以後、中濠以内は軍用地となり、武家屋敷はとりこわされたが、幸にも天守群などは残され、戦災も免れ、往時のままの偉容を今日に伝えている。

戦後、城の北東部は、拘留所、保健所、市役所(現市立美術館)、裁判所、検察庁、労働基準局等の官公庁街となっていた。

姫路城の多くの建物のうち、天守群は「国宝」に指定、同様に中濠以内の地域は、武家屋敷や城門の遺構を埋蔵する重要な文化財で「特別史跡」として指定され、平成5年に姫路城は日本最初の世界文化遺産に登録された。

平成21年2月 姫路市教育委員会 贈 姫路グリーンライオンズクラブ



大天守の鯨が展示されていました。「明治時代」は、5代目、昭和の大修理の際に東側から外された1860年製のもので、江戸中期以降のものは耐久性に乏しいので交換されたとのこと。昭和時代は、6代目で、昭和の大修理の際に1687年製の小型の鯨が発見され、それが現存するもので一番古いのので、それに倣って11の鯨が復原交換されたそうです。「平成時代」というものもあり、7代目で、平成の修理で大天守最上層の2尾のみ交換された「昭和の鯨」を忠実に再現したものとのこと。

大天守には東西2本の大きな柱が地階から最上層の床まで立っています。江戸時代に根継修復されているそうです。昭和の大修理時にも西大柱の腐れが発見され交換されています。ようやく見つけた中津川産1本ものの桧(樹齢800年、高さ35m)が山から搬出中に折れてしまい、さらに1本ものでは上層部の梁が組めず、旧来通りの形の3階部分で2本継となったようです。下部の中津川産桧の上部に継いだのは、城の北北東25km程の市川町笠形神社の神木だった桧だそうです。

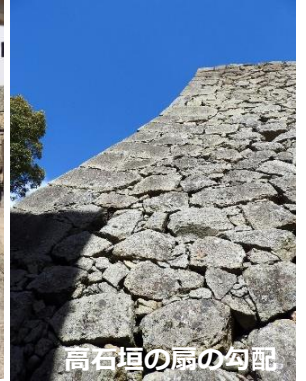


西大柱



石落とし

粘土と砂を交互に突き固めた油壁



お菊井戸（との櫓跡横）

榎（樹齢120年）

古墳の石棺を転用

高石垣の扇の勾配

姫路城は、姫路駅から北に1km程で大手門に着きますが、その少し手前の右側にコンベンション施設イーグレ姫路があり、その屋上の無料展望台でも城を南から望むことができます。また城の北西に男山配水池公園があり、どちらも城の中での見上げたのとは違った視角の天守や全景の写真が撮れます。城の西には日本庭園の「好古園」があります。

平成の修理で4隅の壁に窓の痕跡が発見された



男山配水池公園より 3小天守が全てみえる

イーグレ姫路より



好古園



レの渡櫓

ワの櫓

好古園より

第二次世界大戦中に天守に焼夷弾が当たったことはあっても、一度も大きな戦火や被害を受けたことがない姫路城ですが、1966年に浜美枝や丹波哲郎が出演した映画「007 は二度死ぬ」の撮影で、重要文化財の土塀が八方手裏剣で疵付けられました。その数日後にこのロケ隊は、宮崎県新燃岳でヘリの事故も起こしたそうです。（写真撮影 2016.03.12）

< Google マップ参照 >

URLは、下の「PDFはこちら」に入り、アンダーラインをクリックしてください。

姫路城 <https://www.google.com/maps/@34.8383713,134.693366,16.46z>

男山配水池公園 <https://www.google.com/maps/@34.8421718,134.6898269,18.9z>

イーグレ姫路 <https://www.google.com/maps/@34.8338345,134.6936376,18.9z>

好古園 <https://www.google.com/maps/@34.8378474,134.6900107,18.04z>